

激動国会 党議席の値打ち光ってる

京都で
報告会

こくた・井上議員、わたなべ比例候補が報告

党京都府委員会は1日、京都市中京区で国会報告会を行い、立ち見の人も出る220人の大盛況でした。こくた恵二党国対委員長・衆院議員、井上哲士党参院国対委員長・参院議員が、「森友問題」、南スーダンPKO「日報」問題など激動する国会で日本共産党議席がどう光っているかを報告。京都初お目見えの、わたなべ結衆院比例候補があいさつし、盛んな拍手を受けました。



こくた氏は、「森友問題」について次のように述べました。

□問題の核心は何か ①国民の財産である国有財産を8億円もディスカウントして売却したのはなぜなのか②「森友」小学校の認可がなぜ、いともやすやすと動き出したのか③「教育勅語」を幼児に暗唱させるなどという教育はいいのか。

□政治家の関与 一連の動きは政治家が関与しないとできないのではないかと、とりわけ安倍首相夫妻の道義的・政治的責任が問われている。

□「森友問題」は宮本議員の追及から始まった 自民党は籠池氏に「大ウソつき」という攻撃をしているが、「森友学園」を天まで持ち上げていた。問題になると攻撃する。何をかいわんやだ。国有地格安払い下げや異常な教育問題を真っ先に追及したのは、日本共産党・宮本岳志衆院議員だった。

□なぜ国民は怒っているのか 政権与党は、なぜ国民が怒っているのかが分かっていない。国民はいまだ変な生活をしている。「なのに政治家が関与したら、8億円も負けてやるのか」。確定申告があったが、国税庁は「領収書は7年間とっておけ」と言っているのに、国有地売却の資料は廃棄したという—こういうところに怒っている。

□「ゼロ回答」というが「満額回答」 安倍昭恵首相夫人付の政府職員が籠池氏に送ったファクスに



「要望に沿うことはできない」などとあることから、政府は「ゼロ回答」と言っている。しかし、時間はかかっても主な内容は全部やっている。「満額回答」だ。

□昭恵氏証人喚問を 昭恵氏には議院証言法に基づき、嘘がつけない場に来てもらおうという当たり前のことを要求しているだけだ。

□なぜ日本共産党に内部告発資料が届くのか 日本共産党は「森友」追及の一番手だが、なぜ内部資料が手に入るのか。真実を明らかにしようという党の立場、裏切らず、情報の出所については絶対に隠す、ということに信頼がある。情報の裏を取っている。真相究明、政治の浄化をわれわれが担っているということが大事だ。



こくた氏は、自らの「民泊」問題の国会質問を紹介、その質問を力にしていることを伏見区選出の京都市議が報告しました。わたなべ比例候補はカジノ問題の取り組みと比例5議席獲得の決意を表明しました(裏面に大要)。

総選挙勝利近畿ブロックニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 11(2017.4.2)

4.14近畿
いっせい宣伝

比例 180 万票、5 議席へ
「近畿はひとつ」の大作戦

1000 箇所を

5 議席実現で近畿の女性の願いを国会へ わたなべ結比例候補のあいさつ（大要）

●国政選挙に4度目の挑戦

来る総選挙、比例近畿ブロックでお世話になります、わたなべ結です。私は5年前、31歳の時に初めて衆院大阪3区の候補となり、この間、衆院選に2回、昨年の参院選では大阪選挙区の候補者もやらせていただきました。この度は4度目の国政挑戦、全国で大きな比重を占める、近畿の比例候補です。総選挙は、野党と市民の共闘で安倍政権を倒し、新しい政権をつくる第一歩をつくる。その大きな挑戦で大事な役割を果たせるよう、精一杯がんばる決意です。



●カジノ 国民の懐が狙われている

安倍政権と維新が結託すると、とんでもないことが次々と起こるわけです。カジノ誘致もそうです。「成長戦略」に名を借りて、刑法で犯罪と禁じられた民営の博打場をつくろう。こんなとんでもない計画に、憲法改悪で維新に手を貸してほしいという安倍内閣の思惑が絡み合っ、て、昨年の臨時国会の会期末、維新、自民と公明の3分の2の議員がカジノ解禁推進法案を強行しました。

カジノ誘致の最有力候補地は大阪だと思いますが、カジノ資本が狙っているのは、大阪のみならず近畿圏はじめ、私たち日本人の懐、預貯金です。

●カジノで人と町はどうなるか—韓国で視察

カジノができれば人、町はどうなるのでしょうか。私はそれを知るために、2月に韓国で唯一、韓国人が入れるカジノがある江原(カンウォン)ランドを視察してきました。(中略)

韓国のカジノによる賭博中毒の罹患(りかん)率は、競馬や競輪などより高く59.2%。カジノは競馬や競輪と違って、賭けた結果が5分もかからない短時間で出るため、中毒になりやすいのです。

弊害はいくら規制をしてもゼロにはなりません。だからこそ、推進派もギャンブル依存症対策を言

わなければならぬのです。しかし、対策をすれば、何をしてもいいわけではありません。人を壊し、地域社会を壊すカジノは、つくらない。このことが、まともな町づくりや経済成長のためにも、一番の対策になるのではないのでしょうか。

●「カジノ」ストップへ党伸ばそう

この間、シール・アンケートも使って、カジノ誘致をどう思うか聞くと、反対が圧倒的多数です。先日は、創価学会員というご夫婦が訪ねてこられました。聞くと、「カジノには反対なんやけど、大きな声では言われへん。今度の選挙では応援しています」とおっしゃるんです。「赤旗」も購読してくれました。

こうした声に出せない声も集め、大きな声にして国会に結び政治を動かす。これこそが日本共産党ならではの「草の根」から政治を動かす力です。本格的にカジノを誘致するために必要な「実施法」をつくらせず、カジノをストップするために、総選挙で日本共産党を大きくのばしてください。暮らしやご商売を応援するまっとうな政治の実現へ、ご一緒に力を合わせましょう。

●比例で大きく党を伸ばして

衆院選ではぜひ近畿の女性の声を国会に届けさせてほしい。私は昨年、「女性提言」を発表しました。高い学費と奨学金を払うために風俗業に頼らなければならぬ実態も聞きました。私も卒業後、非正規雇用で働く中で、低賃金で不安定な雇用で働く女性の多さとその実態を目の当たりにしてきました。私自身、夜中まで仕事をして、朝方にタクシーで帰るという働き方が続いた時、月経不順になり、とてもしんどかったこともあります。

こうした実態を生み出す悪政を変えることは、女性のみならず、男性の生きづらさも解消していくことにつながります。そして、性別は関係なく、誰もが個人として大切にされ、自分らしく、一度しかない人生を生きられる未来につながると思います。

近畿ブロックでは現有4議席から5議席以上をめざします。近畿の女性のみなさんの声、願いを届けるためにも、比例で大きく押し上げていただいて、5議席以上を実現し、私、わたなべ結まで国会へ送ってください。